

令和6年度 自己評価結果公表シート

大 王 谷 幼 稚 園

1. 幼稚園の教育目標

○幼稚園の目標 子どもの「自立」と「共生」の心を育む
○上記目標達成のために 「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める

2. 本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した幼稚園評価の具体的な目標や計画

重点的に取り組むことを目標にした幼稚園評価の具体的な目標
1. 遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動する教育の充実に努める。
2. 規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実に努める。
3. 幼児の家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。
4. 安心して安全な幼稚園を保证するための取り組みに努める。
5. 幼稚園と小学校との連携を推進する。
6. 地域交流、異世代交流、国際交流等豊かな体験活動の充実に努める。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評 価 項 目	結 果	理 由
(1)教育活動の充実	A	各学年でねらいや願いを明確に持って子どもの姿を捉え、内容や進め方を検討・再構築しながら子どもが主体的に関われる保育活動や遊びに取り組んできた。自分で考えて行動に移すことも大切に関わっている。
(2)道徳指導等の充実	B	場面や気持ちを想像できるような話し合いのやり方を工夫し、読み聞かせでは、心の育ちにつながる絵本も取り入れてきた。子ども同士のやり取り場面を捉えた個別対応をより細やかにしていきたいところである。
(3)基本的な生活習慣	A	年齢や個人差に応じて繰り返し関わり、一人ひとりの行動や態度を具体的に認めながら習慣化へとつなげてきた。長期休み前には、身に付いてきた生活習慣の継続を家庭にも発信してきたところではある。
(4)安心して安全な幼稚園	A	毎月の避難訓練では、子ども達と振り返りの場面を設け、様々な災害時の基本行動を繰り返し伝えている。子どもへの愛のある言葉掛けや丁寧で適切な接し方について職員間で共有する機会を設けている。
(5)小学校との連携	A	地域の小学校に出向いての交流会や授業参観も継続している。今年度は、小学校教諭が来園し年長児の遊びや生活の様子を見ていただいた上での情報共有の場も設けられた。
(6)豊かな交流体験の充実	B	地域の中学生や高校生が来園しての交流や園外での収穫体験などを実施することができた。園内では、遊びや生活の場で異年齢児同士のやり取りを見守り、仲立ちしているところではある。

4. 幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結 果	理 由
A	年齢や発達・子どもの興味から遊びや保育活動を計画し、学年間での合同保育やグループ保育も少しずつ取り入れてきた。保育のあり方に幅を持たせ、集団ならではの育ちや一人ひとりへの丁寧な関わりも大切にしながら、主体性を持った遊びの充実も図っていききたい。主体性を持った遊びの場が異年齢交流につながることも期待している。2歳児から3歳児への接続に視点をいただいた取り組みも検討を重ねて実施しているが、園全体でつながりのある保育を意識していききたい。

◎「3、4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 組 方 法
(1)教育活動の充実	子どもの興味・関心から環境を構成し、遊びの展開やつながりを考えて、再構成しながら関わっていく。
(2)道徳指導等の充実	子ども同士の具体的なやり取り場面について職員間で話し合い、共通理解を図りながら、気持ちの育ちに目を向けた関わりを心掛けていく。
(3)基本的な生活習慣	職員間の共通理解を図り、各年齢に応じた丁寧な関わりや見守りを継続していく。挨拶への意識向上を図り、挨拶が日常になるよう努める。
(4)安心して安全な幼稚園	職員の防災意識を高め、普段から災害を想定した保育環境等の対策に努める。保護者の方への発信と対話に努め、情報共有することで連携を図っていく。
(5)小学校との連携	園児が進学する小学校との引き継ぎでは、よりきめ細やかな情報提供を心掛ける。
(6)豊かな交流体験の充実	異年齢児同士が自然と関わりや交流を持てるような遊びの環境を工夫していく。多様な交流の機会を取り入れていきたい。